

## 事業所における 自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 月 日

事業所名 こどもサポートきりり 太田第3事業所

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3		部屋の大きさを利用者の人数で変えています	
	②	職員の配置数は適切である	3		法定基準を満たしています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3		障子紙の張替えや段差をなくす等をしています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		エアコンの設定温度の調整	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	1		朝礼の時間を使い、PDCA サイクルを充実させていきます
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1		H30.8 開所 保護者との連携を大事にして意向に沿うようにしていきます
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			H30.8 開所 今後、ホームページへの公開をしていきます
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		事業所研修の時間を確保しています	
適切な 支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		来所時、保護者とのコミュニケーションを大事にしています	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			職員全員で話し合う時間を確立していきます

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3			個別支援計画会議では、十に話し合う時間を設け子どもひとり一人にあった総合的な支援内容を設定できるように努めています
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4			支援内容が個別支援計画に沿っているか、朝の朝礼で確認をしています
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			週1回プログラムを話し合う時間を設けています
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3			発達段階に応じてプログラムを変更しています
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	2	1		集団療育（午前）個別療育（午後）に分かれています
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			毎朝、話し合う時間を設けています
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2		毎朝、支援の振り返り、子どもの様子を話し合う時間を設けています
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3			支援記録はその日のうちに記入しています
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3			必要に応じて（発達段階）個別支援計画の見直しをしています
関係機関	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3			サービス担当者会議には児発管が出席している。会議前には、指導員

や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携				の話を十分に聞きます		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4		定期的に情報交換しています	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		2		現在、利用者の通う学校が決まっています。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		2		現在、利用者の通う学校が決まっています。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	1		現在、利用者の通う学校が決まっています。
㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3		イベント開催日に交流する機会を設けています。		

保 護 者	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		3		
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		来所時に保護者とのコミュニケーションを大事にしています	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3		迷いや悩みを抱えているときは、話を聞き、一緒に解決していく方法を考えています	
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時に説明し、質問を受け付けています	

への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		個別支援計画を立てた際は、保護者に細かく説明をし、他に要望等がないか確認をし、同意を得ています	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		保護者が悩みを話しやすい環境を整え、必要な助言と支援を行っています	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している				今後、利用者が増えてきたら開催する予定です。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		職員全員が子どもや保護者の気持ちに寄り添う心掛けをしています	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		行事予定が入っているカレンダーを配布しています	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	4		書類の保管は鍵付きの書庫を使っています	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		情報を伝える手段をいくつか検討しています	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4		おおむね月1回イベント開催をしています	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4			マニュアルの保管は、しているので、職員の意識向上に努めていきます
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		毎月1回防災訓練をしています	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		子どもの状況は、保護者から必ず	

				聞くようにしていません	
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		職員全員に事例を周知し、防止策を検討し再発防止に努めています	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		定期的に事業所内で研修会を開催しています	外部研修へも参加していくよう努めています。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	1		身体拘束についての同意書にサインを頂きご理解して頂いています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 月 日

事業所名 こどもサポートきりり太田第 3 事業所 保護者等数（児童数） 3 回収数 3 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	3					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3				いつも整頓されていて手作りのおもちゃがあり工夫されています	整理整頓を心掛け、活動に適した気持ちのいい事業所にしていきたいと思っています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3				子どもの興味がある教材を取り入れて支援してもらっています。	子どもひとり一人に合わせた、興味のある教材を提供できるようにしています。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	1			
保護者への説	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3				わからない点を教えて頂きました	契約時にわかりづらい言葉等、説明させて頂いています。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3					

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2			1	子どもの様子をよく聞いてくれる	子育てを楽しんで頂けるように、保護者の気持ちに寄り添うことを心掛けています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	3					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		1	1	1		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3				迷い、心配になることが多い中、よく話を聞いてもらっています	成長の喜びや、子育ての悩みを気軽に話して頂ければと思います。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3					
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	3					
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3					
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3					
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	3					
	㉓	事業所の支援に満足しているか	3					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。